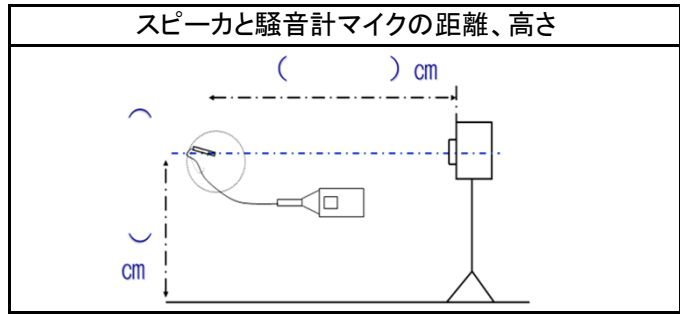


店舗名 _____

使用測定器(騒音計)	
型式	特性

※音場校正に使用した周波数特性(CまたはZ)を記入。

装用効果測定のための機材	
オーディオメータ 型式	
スピーカ 型式	
CD再生機 型式	
スピーチ 使用音源	



音圧校正を行った基準値 (いずれかに○を記入)	
単耳聴	両耳聴

基準値(dB SPL)										語音聴力測定 (スピーチ)
周波数(Hz)	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	
0dB HL 単耳聴*1 (ANSI S3.6)	13.4	6.4	4.4	4.4	4.4	0.7	-3.8	-3.4	6.3	*1片耳で聞いた時の 0dBHLの規格 *2両耳で聞いた時の 0dBHLの規格
0dB HL 両耳聴*2 (ISO389-7)	11.4	4.4	2.4	2.4	2.4	-1.3	-5.8	-5.4	4.3	
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	10dB SPL

参考										語音明瞭度測定 (スピーチ)
70dB HL 単耳聴出力*3 (ANSI S3.6)	83.4	76.4	74.4	74.4	74.4	70.7	66.2	66.6	76.3	
*3片耳で聞いた時の 70dBHL時の音圧										*4両耳で聞いた時の 70dBHL時の音圧
70dB HL 両耳聴出力*4 (ISO389-7)	81.4	74.4	72.4	72.4	72.4	68.7	64.2	64.6	74.3	
*4両耳で聞いた時の 70dBHL時の音圧										70dB HL=80dB SPL

音圧校正をする場合、オーディオメータのダイヤルが70dBの時に各周波数で片耳の場合は上記*3となるよう校正する。
(両耳の場合は上記*4となるよう校正。)
音場校正、校正値を確認する場合は騒音計の周波数特性をCまたはZで行うこと。

実測値(dB SPL)													
測定日	周波数測定	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	語音聴力測定 (スピーチ)	測定時騒音レベル ※A特性	担当
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		
年 月 日	実測値										実測値	dB(A)	
	誤差										誤差		

※音場でのスピーカ-の校正方法に関しては、「販売店における補聴効果の確認法」を参考にしてください。
※音場での測定は、左右それぞれの補聴器を適正に評価するために片耳ずつ行うことが望ましい。